

# “楽譜コピーの驚きの実態”

—膨大な量の楽譜がコピーされ、楽譜のコピー利用は日常化—

## 【調査要綱】

調査は以下の要領で実施した。

調査対象:全国の15～69歳の男女58,783名のうち、「楽譜を日常的によく利用している」2,649名、なお「音楽活動の実施率・楽譜の利用率」については58,783名から国内人口の男女別年齢構成比率に割り付けて抽出した29,288名を調査対象とする。

調査対象とした楽譜の種類:一般の一曲ごとに販売されている楽譜に加え、音楽書籍などに掲載されている楽譜を含む。

## 【調査結果サマリー】

- ◆ 「日常的に音楽活動をしている」のは全体の1割強、また「楽譜を日常的によく利用している」のは全体の1割弱。若い層ほど音楽活動の実施率、楽譜利用率ともに高い<sup>※</sup>

日常的に何らかの音楽活動をしているのは全体の12.4%、音楽活動の実施率は10代(15～19歳)で28.9%、20代で16.9%と若い層ほど高い。また、楽譜を「良く利用している」は全体の7.4%である。音楽活動と同様に楽譜の利用率も若い層ほど高い。

注:当該調査結果は58,783名から国内人口の男女別年齢構成比率に割り付けて抽出した29,288名を調査対象とする。

- ◆ 楽譜利用者の8割以上がコピーした楽譜を利用している

楽譜利用者の中で「全てがコピーした楽譜」を使っているのは14.9%、「多くがコピーした楽譜」であるのは22.5%である。「コピーした楽譜を利用したことがない」のは15.2%に過ぎず、この半年間で全体の8割以上がコピーした楽譜の利用経験がある。楽譜のコピー利用が日常化していることが示唆される。

- ◆ 楽譜利用者の4人に1人は楽譜コピーに対する違法性の認識がない

「特別に認められた場合を除き、楽譜をコピーして利用することは違法になる」ことを「知っている」は40.8%、「何となく知っている」34.1%、「全く知らなかった」25.1%で4人に1人は楽譜コピーに対する違法性の認識がない。

- ◆ 過去半年間で1人平均11.2曲、41.3枚の楽譜コピー、年間で8,400万曲、2億6,000万枚と試算

過去半年間で実際に楽譜コピーしたことある人の平均コピー曲数は11.2曲、枚数は41.3枚であり、これをもとに試算すると、全国で年間8,400万曲、2億6,000万枚※の楽譜がコピーされていることになる。

※平均枚数から、法的に認められている小中高校の授業用に使われるコピーを除いて試算

## 【 調査結果の概要 】

### 1. 音楽活動の実施率・楽譜の利用率<sup>注</sup>

～若年層ほど音楽活動の実施率・楽譜の利用率が高い<sup>注</sup>～

日常的に音楽活動を実施しているのは全体<sup>注1</sup>の12.4%。10代(15～19歳)や20代の若年層での実施率が高い。30代以降ではどの年代とも1割程度の人が実施しており、年代による差はない。また、楽譜を「良く利用している」のは7.4%、「たまに利用している」のは9.8%である。楽譜の利用率も音楽活動の実施率と同様に10代から20代の若年層で高い。

注: 当該調査結果は58,783名から国内人口の男女別年齢構成比率に割り付けて抽出した29,288名を調査対象とする。

### 2. 「楽譜日常利用者」<sup>注1</sup>の音楽活動について

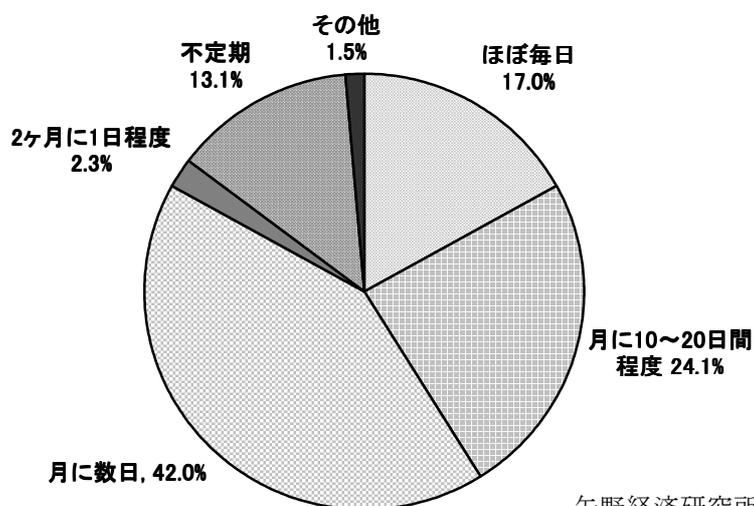
#### 2-1. 音楽活動の頻度と楽譜の利用

～日常的な楽譜利用者の8割以上が月に1日以上音楽活動を行っている～

「楽譜日常利用者<sup>注1</sup>」の音楽活動の頻度は、「ほぼ毎日」が17%、「月に10日～20日間程度」が24.1%、「月に数日」が42.0%で、8割以上が月に1日以上の音楽活動を行っている。

また、「楽譜日常利用者」が半年間で利用した楽譜の平均曲数は23曲、楽譜の平均枚数は31枚である。

図1. 「楽譜日常利用者」の音楽活動について  
1ヶ月あたりどのぐらいの頻度で音楽活動を行っているか



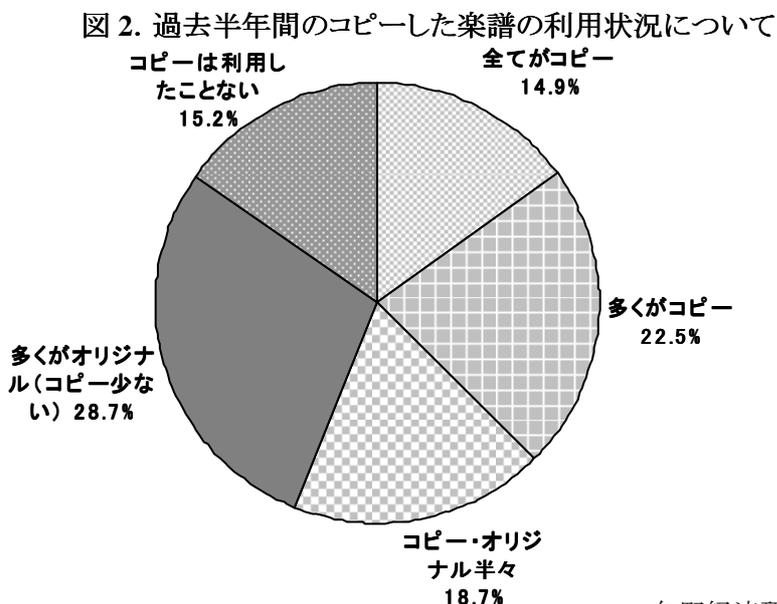
矢野経済研究所・日本楽譜出版協会作成

注1: 本調査対象58,783名のうち、日常的に楽譜をよく利用すると回答した2,649名(単数回答)

## 2-2. 過去半年間でコピーした楽譜の利用状況

～全体の8割以上がコピーした楽譜を使ったことがある～

「楽譜日常利用者」のコピーした楽譜の利用頻度は、「全てがコピーした楽譜」(14.9%)、「多くがコピーした楽譜」(22.5%)、「コピーした楽譜とオリジナルの楽譜が半々」(18.7%)、「多くがオリジナルの楽譜」(28.7%)、「コピーした楽譜は利用したことがない」(15.2%)である。全体の8割以上がコピーした楽譜を使った経験があり、楽譜のコピー利用が日常化していることが示唆される。



矢野経済研究所・日本楽譜出版協会作成

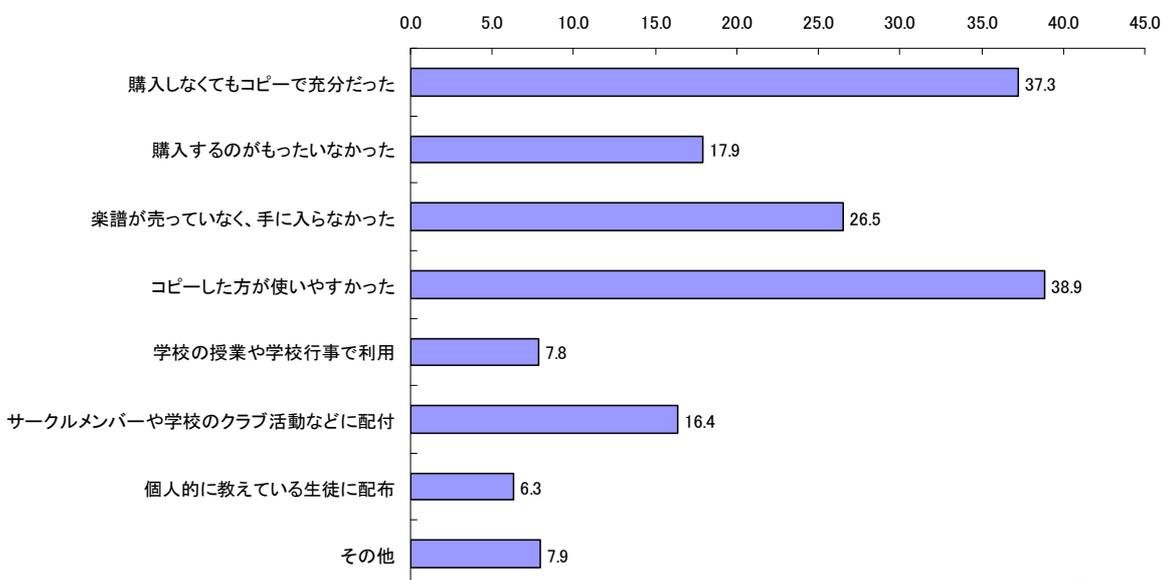
注 2: 本調査対象 58,783 名のうち、日常的に楽譜をよく利用すると回答した 2,649 名(単数回答)

## 2-3. 楽譜をコピーした理由

～「購入するのがもったいない」などの自己都合の理由が多いが、その他の理由もある～

「購入しなくてもコピーで充分」(37.3%)、「購入するのがもったいなかった」(17.9%)などやや自己都合を優先させる理由が多いが、「コピーした方が使いやすかった」(38.9%)という使い勝手を良くするためのコピー理由も多かった。

図 3. 楽譜をコピーした理由について



矢野経済研究所・日本楽譜出版協会作成

注 3: 本調査対象 58,783 名のうち日常的に楽譜をよく利用するとした 2,649 名のなかで、過去半年間で実際に楽譜をコピーしたことがあると回答した 1,537 名(複数回答)

## 2-4. 過去半年間で楽譜をコピーした総曲数・総枚数

～コピーした平均総曲数は 11.2 曲、平均総枚数は 41.3 枚～

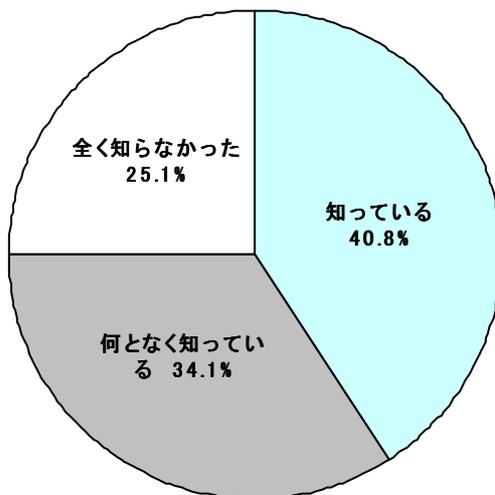
「楽譜日常利用者」のうち、過去半年間で実際に楽譜をコピーしたことのある人の平均総曲数は 11.2 曲、平均総枚数は 41.3 枚だった。年代別に見ても平均枚数には大きな差はない。

## 2-5. 楽譜のコピーの違法性に対する認識

～楽譜利用者の 4 人に 1 人は楽譜コピーに対する違法性の認識がない～

「特別に認められた場合を除き、楽譜をコピーして利用することは違法になる」ことを「知っている」は 40.8%、「何となく知っている」34.1%、「全く知らなかった」25.1%で 4 人に 1 人は楽譜コピーに対する違法性の認識がない。

図 4. 楽譜コピーの違法性に対する認識



矢野経済研究所・日本楽譜出版協会作成

注 5: 本調査対象 58,783 名のうち、日常的に楽譜をよく利用すると回答した 2,649 名 (単数回答)

## 2-6. 年間楽譜コピー数量試算

～1 年間に楽譜がコピー利用される量は 8,400 万曲、2 億 6 千万枚と試算～

本調査結果から、全国で 1 年間に楽譜がコピーされる数量を試算すると(小中高校の授業用コピーを除く)、8,400 万曲、2 億 6 千万枚になる。全てが違法コピーというものではなく、合法的なものも含まれているが、楽譜利用者において、コピー利用が日常化しており、現状で膨大な量の楽譜がコピーされているものと推察する。

### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝

設立：1958年3月 URL: <http://www.yano.co.jp/>

### ◆ 日本楽譜出版協会

所在地：東京都千代田区外神田2-18-21 会長：佐々木 隆一

設立：1986年10月 URL: <http://www.j-gakufu.com/>

本件に関するお問合せ先 (当社 HP から承っております <http://www.yano.co.jp/>)

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報宣伝グループ TEL : 03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所、および日本楽譜出版協会に帰属します。本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報宣伝グループ迄お問合せ下さい。